

県小学生派遣事業がスタート

本島児童が離島生活体験

西表に壺屋小、交流活動へ

県小学生離島体験学習促進事業に伴い、那覇市立壺屋小学校5、6年生児童34人が26～28日の日程で西表島で体験学習を行っている。子どもたちが到着した26日午前、石垣空港では竹富町観光マスコットキャラクター「ピカリヤー」が子どもたちを出迎えた。

同事業は離島の魅力や重要性、特殊性などのメリット・デメリットを巡り、地域活性化についで、認識を深め、つなげていくことが目的。

体験などを通して自然の小学校3校が伊是名や宮古島などでも交流学習を行うとともに、地元の小学校交流会などで行われる。本年度の同事業は試行的な実施で那覇市内の児童が県内各離島へ派遣される予定。



石垣空港での歓迎は日本トランスオーション航空（JTA）が竹富町観光協会の協力を得て実施したもので、子どもたちは突然の出会いに驚いた様子で「ピカリヤー」に触れ、記念撮影するなど楽しんでいった。同校児童らは期間中、西表島に滞在し、カー体験や宇多良炭鉱跡の見学、キビ刈り

壺屋小学校児童らを出迎える竹富町観光マスコットキャラクター「ピカリヤー」26日午前、石垣空港

八重山毎日

2010. 12. 28